

協会に事務局を置く団体

神奈川県消化器集団検診機関 一次検診連絡協議会

本協議会は老人保健法施行に伴い昭和57年2月、日本胃集団検診学会（現：日本消化器集団検診学会）関東甲信越地方会実施機関部会における、各県単位に「協議の場」を設置することの申合せにより発足し、満23年余を経過した。

発足以来、県内における老人保健法に基づく胃がんの住民検診を行なう一次検診実施機関の精度管理の向上、行政、医師会をはじめとする関係機関との連携協力を図り、共通の諸問題の研究、技術の向上を目指して討議を行い、胃がん検診の充実、発展を図ってきた。当協会は発足当初より事務局を引き受けている。

1. 協議会の開催

- (1) 第57回協議会 平成16年7月1日(木)
(2) 第58回協議会 平成17年1月20日(木)

2. 幹事会の開催

- (1) 第72回幹事会 平成16年7月1日(木)
(2) 第73回幹事会 平成16年7月22日(木)
(3) 第74回幹事会 平成16年11月25日(木)

3. 研修会

日 時：平成17年1月20日(木)
テーマ：「消化器集団検診学会の報告」
講師 横浜市民病院がん検診センター
所長 今村 清子 先生

4. 技術部会

日 時：平成17年3月4日(金)

神奈川県消化器集団検診機関 一次検診連絡協議会名簿

横浜市立市民病院がん検診センター	所長	今村 清子
川崎市がんセンター	所長	川原 英之
(財)逗葉地域医療センター	施設長	田中 昭平
(医)松英会	理事長	寺門 運雄
(財)京浜保健衛生協会	理事長	矢作 淳
(医)倉田病院健康管理室	院長	倉田 康久
神奈川県厚生農業協同組合連合会	代表理事長	廣瀬 康彦
(財)神奈川県労働衛生福祉協会	会長	角田 昭夫
(財)結核予防会神奈川県支部	専務理事	磯部 仁美
(財)神奈川県予防医学協会	理事長	土屋 尚
神奈川県立厚木病院	病院長	岡部 武史
(医)社団相和会産業健診事業部	理事長	土屋 章
(医)藤順会藤沢総合健診センター	理事長	石井 敏之

相談機関

神奈川県保健福祉部健康増進課	課長	猿田 克年
神奈川県医師会	理事	石井 出
神奈川県医師会	理事	長倉 靖彦
日本消化器集団検診学会関東甲信越地方会	技師長	村西 久幸

平成17年8月1日現在
(事務局・熊沢 英明)

神奈川県消化器内視鏡技師研究会

本研究会は、県下の消化器内視鏡技師もしくは、その仕事に携わる人々を対象に、お互いの知識・技術の向上をめざし、日常業務の質の向上を図る目的で設立され活動を行なっている。

今年度は、丹羽病院の南 康平先生を世話人として、下記のとうり行なわれた。内視鏡消毒セミナーでは、2施設から報告され「予備洗浄を医師自身が施行して一人1スコープになるまで」を国際親善病院の鈴木 悟司先生から楽しい講演を伺えた。

特別講演とパネルディスカッションは、『胃ろう造設』を取り上げ、造設にかかわる技師がどこまで知っているか・知る必要があるか、共通のテーマで行なわれ、北里大学東病院の嶋尾 仁先生より「内視鏡的胃ろう造設術の現状」を講演していただき術者の立場からのお話を聞くことができたことは今後の業務におおいに役立つことであった。今後も専門知識の獲得や正しい情報を提供できる場として研究会を発展させて行きたい。

最近の活動状況

第24回神奈川県消化器内視鏡技師研究会

日 時 平成16年4月25日(日)
会 場 横浜市健康福祉センター
技師世話人 丹羽病院内視鏡室 藤井あずさ
内 容

セミナー 「内視鏡の正しい感染管理」
「1人1スコープ制になるまで」
一般演題 5題
技師世話人 「内視鏡的胃ろう造設」
パネルディスカッション
「在宅医療に向けての内視鏡技師の関わり」
入場者数 300名

顧問

(50音順)
青木 誠孝 青木医院
小泉 博義 藤沢湘南台病院
比企 能樹 北里大学病院名誉教授
藤田 力也 昭和大学藤が丘病院名誉教授
三輪 剛 東海大学医学部病院名誉教授
山川 達郎 帝京大学溝口病院外科

役員

青地 広美 横浜市立大学医学部附属市民総合医療センター
片野早江子 聖マリアンナ医科大学病院
上条のり子 昭和大学藤が丘病院
木下千万子 淵野辺総合病院
佐藤 和男 神奈川県労働福祉協会
佐伯 美奈 聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院
菅原由香里 松島クリニック
瀬戸 道雄 青木医院
谷合 幸乃 横浜市立港湾病院
納所けい子 神奈川県予防医学協会
花木由香里 東海大学病院
星野 朱美 横須賀共済病院
藤井あずさ 丹羽病院
藤田 賢一 帝京大学溝口病院
藤森 弘樹 昭和大学藤が丘病院
松橋 妙子 国際親善病院
三浦 美保 北里大学東病院
武藤美恵子 東海大学病院

(事務局・納所けい子)

横浜市乳がん検診協議会

横浜市の乳がん集団検診は、昭和55年11月より開始された。

本会は検診体制の整備、改善などの精度管理面の検討と、検診の円滑かつ効果的な運営をはかるため、専門的立場から調査、審議を行うことを目的として昭和56年7月18日に発足した。

当協会は発足当初から、事務局を担当している。

平成16年度の活動は以下のとおり。

尚、横浜市の乳がん集団検診は平成17年度より休止となった。

協議会（平成16年12月15日）

- (1) 15、16年度検診実施状況報告
- (2) マンモグラフィ併用乳がん検診実施状況報告
- (3) 17年度の乳がん集団検診について

その他

「平成15年度横浜市乳癌集団検診報告書」発行

横浜市乳がん検診協議会名簿（平成16年度）

会長	土屋 周二	横浜市立大学医学部名誉教授
幹事	真田 裕	昭和大学藤が丘病院外科教授
幹事	高梨 吉則	横浜市立大学医学部外科学第一講座教授
幹事	嶋田 紘	横浜市立大学医学部外科学第二講座教授
幹事	福田 護	聖マリアンナ医科大学乳腺内分泌外科教授
幹事	須田 嵩	済生会横浜市南部病院副院長
幹事	高岡 幹夫	横浜市衛生局保健部長
幹事	有田 英二	神奈川県予防医学協会中央診療所部長
委員	利野 靖	横浜市立大学医学部外科学第一講座講師
委員	石川 孝	横浜市立大学附属市民総合医療センター 総合外科講師

委員	蔵並 勝	北里大学病院外科講師
委員	鬼頭 文彦	横浜市民病院外科部長
委員	山本 裕司	横浜市立港湾病院副院長
委員	清水 哲	横浜南共済病院外科部長
委員	佐藤 博文	横浜栄共済病院外科部長
委員	大井田尚継	社会保険横浜中央病院外科部長
委員	高橋 利通	横浜掖済会病院外科部長
委員	竹村 正伸	横浜勤労者福祉協会汐田総合病院外科部長
委員	石川 廣記	神奈川県警友会けいゆう病院外科部長
委員	上妻 達也	横浜船員保険病院外科部長
委員	山中 研	横浜赤十字病院外科部長
委員	土井 卓子	独立行政法人国立病院機構 横浜医療センター外科医長
委員	田村 功	藤沢湘南台病院外科
委員	桜井 修	横浜旭中央総合病院外科
委員	田畑 和夫	横浜市衛生局保健政策課事業推進担当課長
委員	土屋 尚	神奈川県予防医学協会理事長

（事務局・栗原 博）

横浜市マンモグラフィ総合判定委員会

厚生労働省が12年に示したがん検診の指針に則り、横浜市は13年10月よりマンモグラフィ装置のある市内の45医療機関（平成17年4月現在49機関）を対象にマンモグラフィ併用検診を開始した。

対象者は50歳以上の偶数年齢者とし、上記医療機関では視触診とマンモグラフィを同時実施とし、装置のない医療機関と集団検診は視触診のみを実施し、装置のある医療機関でのマンモグラフィ撮影を行うというシステムである。

本システムの特徴は、マンモグラフィ実施医療機関でフィルムの1次読影を行い、さらに読影の精度管理のために週1回の総合判定委員会において、学会認定医師による2重読影および総合判定を行い受診者への結果通知を行っており、その運営の事務局を当協会が担当している。

判定会には撮影に従事する放射線技師も参加し、医師、技師による合同判定会として運営されている。更に検診に参加している医療機関の医師、技師にも公開され、検診レベルの向上に努めている。

横浜市では、17年7月より厚生労働省の新指針に基づき、対象者ならびに撮影方法、総合判定方法等が改正され、判定会の運営方法も変更された。

判定会開催（16年4月～17年3月）45回

検討会開催 第1回（16年7月9日）

- ・横浜市乳がん検診管理委員会の報告
- ・厚生労働省指針の一部改正について 他
- 〳 第2回（16年10月29日）
- ・横浜市乳がん検診管理委員会の報告
- ・総合判定委員会の対応について 他
- 〳 第3回（17年2月16日）
- ・17年度横浜市乳がん検診について
- ・新検診票について
- ・読影態勢について 他

判定委員会委員

福田 護	聖マリアンナ医科大学乳腺内分泌外科
八十島唯一	八十島クリニック
中島 康雄	聖マリアンナ医科大学放射線科
小田切邦雄	青葉台クリニック
奥村 輝	南山田クリニック
土井 卓子	国立病院機構横浜医療センター外科
清水 哲	横浜南共済病院外科
郷地 英二	聖隷横浜病院外科
山内栄五郎	聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院放射線科
久保内光一	よこはま乳癌と胃腸の病院外科
有田 英二	神奈川県予防医学協会
桜井 修	横浜旭中央総合病院外科
緒方 晴樹	聖マリアンナ医科大学乳腺内分泌外科
石山 暁	横浜市がん検診センター
石川 孝	横浜市立大学医学部付属市民総合医療センター外科
印牧 義英	聖マリアンナ医科大学放射線科
片山 信仁	帝京大学付属溝口病院放射線科
鈴木美奈子	昭和大学横浜市北部病院放射線科
川本 久紀	聖マリアンナ医科大学乳腺内分泌外科
加藤 直人	三浦市立病院外科

（事務局・栗原 博）

乳がん集団検診協力医療機関連絡会

県域の乳がん集団検診は昭和52年度から開始された。53年度以降は県が実施主体となって、「神奈川県乳がん集団検診協議会」の技術指導のもとに協会が委託を受け実施した。

その後昭和60年度に乳がん検診が老人保健法に変わり、実施主体が市町村に変わったのを契機に、当協会を事務局として「乳がん集団検診協力医療機関連絡会（現会長＝福田護・聖マリアンナ医科大学乳腺・内分泌外科教授）」が新たに発足し、検診の実務が逐行されている。

同連絡会は「県成人病管理指導協議会乳がん部会（部会長＝福田護・同上、事務局＝県保健福祉部）」の指導のもと検診精度管理面の検討と、検診の円滑かつ効果的な運営を図るため設置されている。

乳がん集団検診協力医療機関連絡会

（敬称略：順不同・平成17年7月1日現在）

会長・聖マリアンナ医科大学病院 福田 護

（乳腺・内分泌外科 教授）

医療機関名	代表医師名
横浜市立大学医学部（第一外科）	利野 靖
横浜市立大学医学部（第二外科）	石川 孝
横浜船員保険病院	上妻 達也
横浜赤十字病院	山中 研
昭和大学藤が丘病院	真田 裕
横浜南共済病院	清水 哲
日本医科大学付属第二病院	山下 浩二
聖マリアンナ医科大学病院	緒方 晴樹
横須賀共済病院	細井 英雄
藤沢市民病院	仲野 明
藤沢湘南台病院	田村 功
茅ヶ崎市立病院	小林 一博
北里大学病院	蔵並 勝
国立相模原病院	秋山 憲義
平塚共済病院	片山 清文
小田原市立病院	安野 憲一
山近記念総合病院	久保田光博
西湘病院	原 俊介
秦野赤十字病院	鈴木 弘治
東海大学病院	徳田 裕
三浦市立病院	小澤 幸弘
大和市立病院	竹下 利夫
東海大学大磯病院	中崎 久雄
伊勢原協同病院	篠田 政幸
平塚市民病院	坂田 道生
熱海病院	岩崎 博幸
海老名総合病院	内山喜一郎
津久井赤十字病院	荒井 義孝

（事務局・熊沢 英明）

神奈川乳房画像研究会 神奈川乳房超音波画像研究会

本研究会は平成10年12月に発足し、マンモグラフィ・乳房超音波検査・乳房画像診断・病理診断に携る県下の放射線技師・医師をはじめ、その検査を受ける立場の一般の方に至るまでを対象とし、早期乳がんを発見するために、画像診断力、精度管理の知識向上を目指し幅広く普及活動を行なっている。また、平成16年3月より神奈川乳房超音波画像研究会を発足し、医療従事者等を対象に幅広く活動している。

世話人代表 萩原 明

平成16年度 神奈川乳房画像研究会

神奈川乳房超音波画像研究会 活動状況

《第20回研究会》平成16年6月12日（土）

1. トピックス 最近の学会報告
マンモグラフィの観察における、フィルム濃度とシャーカステンの輝度関係 他
総合病院国保旭中央病院 五十嵐隆元 他

2. 教育講演

施設画像評価によるデジタル系の評価
ならびに超音波装置のQCの試み
聖マリアンナ医科大学病院 放射線医学教室
今村 恵子

《第21回研究会》平成16年9月25日（土）・26日（日）

* 第13回日本乳癌画像研究会セミナー

* 第4回デジタルマンモグラフィ分科会と共同開催

1. ランチョンセミナー

千葉県での乳癌発見へのあゆみ
司会：国立横浜医療センター外科 土井 卓子
講演：ちば県民保健予防財団がん検診センター
橋本 秀行

2. 教育講演

横浜市と神奈川県の乳癌検診における読影方式と評価
司会：（財）神奈川県予防医学協会 萩原 明
講演：聖マリアンナ医科大学 乳腺内分泌外科
福田 護

3. 特別講演

わが国の乳がん検診の動向
司会：神奈川県産婦人科医学会会長 八十島唯一
講演：東北大学大学院医学系研究科 大内 憲明

4. シンポジウム

乳癌の非浸潤性（入管内）進展の画像診断と技術
座長：国立名古屋医療センター 放射線科
遠藤登喜子
愛知県がんセンター 放射線診断部
堀田 勝平

・MMG診断 癌研究会附属病院 乳腺外科
高橋かおる

・MDCT・MRI診断 金沢大学医学部放射線科
川島 博子

・MRI技術 聖マリアンナ医科大学 MR室
成松 洋

・超音波診断
筑波大学臨床医学系乳腺甲状腺内分泌外科
植野 映

・各モダリティーによる技術的背景の進歩
天理よろづ相談所病院 放射線科 錦 成郎

《第22回研究会》平成16年12月18日（土）

1. 乳がん検診におけるCADの適応は…
プレストピアなんば病院 院長 難波 清
2. 乳がんX線写真と病理との対比
埼玉県立がんセンター 病理科長 黒住 昌史
3. 臨床写真評価

神奈川乳房画像研究会世話人

《第23回研究会》平成17年2月11日（土）・12日（日）

* 第14回日本乳癌画像研究会セミナー

* 第5回デジタルマンモグラフィ分科会と共同開催

《第24回研究会》平成17年3月26日（土）

1. 教育講演

カテゴリー分類の解釈
独立行政法人国立病院機構名古屋医療センター
放射線科 遠藤登喜子

2. 特別講演 1

画像診断のための組織型の知識
癌研究会癌研究所 乳腺病理部 坂本 吾偉

3. 特別講演 2

乳腺甲状腺の超音波診断の初歩
山近記念総合病院院長 久保田光博
（事務局・見本喜久子）

神奈川県健康管理機関協議会

本協議会は、昭和56年の発足当時から企業の健康管理を側面から支援するために、より質の高いサービスを提供すると共に、労働衛生行政へも積極的に協力していくことを活動の目的としてきました。

そのため運営面の適正化と質的向上に関する事項の協議や、専門医の講演等を企画して、継続的に年2回の協議会を重ねております。

平成16年度活動状況

第1回協議会（平成16年9月16日）

- 議題1 ①平成16年度神奈川労働局行政運営方針の概要
 神奈川労働局 星野 直 労働衛生課長
 ②神奈川労働局からの連絡事項
 神奈川労働局 丹羽 信
 主任労働衛生専門官
- 2 講演 『企業外健康管理機関に期待するもの』
 講師 神奈川産業保健推進センター
 産業保健相談員 能勢 俊一 先生
- 3 各機関からの情報交換
 ・個人情報保護法について
 ・採血事故への対応
 ・結核予防法の改正と安衛法への影響

第2回協議会（平成17年3月3日）

- 議題1 ①神奈川労働局からの連絡事項
 神奈川労働局 星野 直 労働衛生課長
- 2 講演 『労働衛生機関をめぐる法律問題』
 -プライバシー、健康診断実施に関する法的諸問題-
 講師 浅野 高宏 弁護士
- 3 各機関からの情報交換
 ・個人情報保護法への取り組み
 ・プライバシーマーク取得状況

機関名 ● 代表幹事 ▲ 幹事

- (財)神奈川県予防医学協会
- ▲(財)神奈川県労働衛生福祉協会
- ▲(財)ヘルス・サイエンス・センター
 (財)京浜保健衛生協会
- ▲(財)結核予防会 神奈川県支部
 (財)全日本労働福祉協会
 (財)日本予防医学協会 東日本統括センター
- ▲(財)労働医学研究会 川崎南クリニック
 (財)労働衛生協会
 独立行政法人 労働者健康福祉機構
 関東労災病院 健康管理センター
- (財)労働科学研究所
- (医)社団 日健会 日健クリニック
- (医)社団 相和会
- (社)衛生文化協会 城西病院
 独立行政法人 労働者健康福祉機構
 海外勤務健康管理センター
- (財)逗葉地域医療センター
 神奈川県厚生農業協同組合連合会 健康管理センター
- (財)産業保健研究財団 神奈川診療所
 (事務局・根本 克幸)

神奈川健康保持増進サービス 機関等連絡会

神奈川健康保持増進サービス機関等連絡会は、県下で活動している中央労働災害防止協会認定の健康保持増進サービス機関で組織され、神奈川労働基準局の指導の下、平成2年12月に発足し自主的に運営され、今日に至っている。

厚生労働省では、中小企業における健康保持・増進を目指した「中小規模事業場健康づくり事業＝ステップアッププラン」を推進されている。

本事業は、中央労働災害防止協会に名簿登録されている「労働者健康保持増進サービス機関・指導機関」がその実行を担い、事業に要する費用は原則として全額国が負担する制度である。今後本事業がサービス機関・指導機関の果たすべき役割の指針となるものである。

しかしながら、長引く経済不況は、企業における健康管理計画に影響を及ぼしつつあり、その結果として健康づくり事業もここ数年停滞傾向にあるのが実態である。

このような状況に鑑み、神奈川労働局のご指導・中央労働災害防止協会との連携により、健康保持・増進対策を活性化するとともに企業に真に望まれる事業の展開が必要である。

急速な高齢化が進むわが国における、働く人の健康づくりを進めることは、①健康で仕事に対する意欲を持った健全な労働力の確保であり、従業員にその能力を十分に発揮してもらう。②社会経済面からも職場の活性化に結び付け、医療費の抑制を目指す観点から重要である。

<平成16年度活動状況>

本年度は、健康づくり事業の普及拡大と働く人の健康づくり神奈川大会への協賛が活動の中心となった。

健康づくり神奈川大会は、神奈川健康づくり推進会議が実施主体となり、神奈川健康保持増進サービス機関等連絡会が協賛団体として開催されている。

今年度は、日本アイ・ビー・エム(株)、住友スリーエム(株)における健康づくり活動の事例発表および神奈川県立保健福祉大学中村丁次教授による「食生活改善による、生活習慣病予防」の特別講演がおこなわれ、380名が参加された。

「2005働く人の健康づくり神奈川大会」

(17年2月10日 横浜女性フォーラムにて)

<平成16年度加入機関>

- (財)神奈川県労働衛生福祉協会
- (財)京浜保健衛生協会
- (社福)日本医療伝道会 衣笠病院
- (医社)善仁会 横浜第一クリニック
- 総合健診センターヘルスチェック
- (医)報徳会 西湘病院
- (医)社団 こうかん会 (水江診療所)
- (財)神奈川県予防医学協会

(事務局・北見 護)

肺疾患検討会

昭和56（1982年）9月に発足した本会も平成16年度で111回を数えるに至った。その間、休会となったのは大雪のための一回を含む二回のみという精勤ぶりである。参加者は決して多数数ではないが当初より20名以下の当時にしては比較的小数派の「肺」を愛する徒の集りであった。この間、20数年、同じ場所で同じ世話役と変り映えはしないことに杞憂はあったものの、それは参加者の世代交代ということで見事に続いているのが現状である。

第111回（平成16年5月11日）

横浜南共済病院心臓血管外科 孟 真先生
「静脈血栓塞栓症の病態、診断、治療、外科手術」

第112回（平成16年9月28日）

神奈川県立循環器呼吸器病センター 呼吸器外科
小川 伸郎先生他
「多発性陰影に対してどう対処するか…」
5 症例の提示

第113回（平成16年11月17日）

横須賀共済病院 呼吸器外科 諸星 隆夫先生他
1) 気管圧排著明な縦隔甲状腺癌
2) 原発不明の縦隔内甲状腺癌
3) 胸膜より発生して食道壁と密に癒着していた
絨維腫（Spindle cell tumor）
4) 胸腺と遊離していた胸腺腫瘍
5) 早期メーPで難解な両側胸腺腫

第114回（平成17年2月8日）

横浜労災病院、呼吸器外科 前原 孝光先生他
1) 白血病の髄外性腫瘍（左胸壁）
2) 右胸腔内平滑筋肉腫の移転
3) Solitary fibrous tumor
4) 肺内の気管支嚢胞
5) 膿胸手術の3例（内視鏡的）

第115回（平成17年5月17日）

横浜市立大学附属市民総合医療センター
総合外科 乾 健二教授他
縦隔腫瘍の各種
1) 巨大な気管原性腫瘍
2) Castleman腫瘍
3) 右側腹部痛の悪性リンパ腫
4) Seminoma
5) 肢体部腫瘍を合併したMEN I型

以上

（事務局・井出 研）

神奈川微小肺がん研究会

本会は、ヘリカルCTによる肺検診に携わる人達が交流を深め、その撮影条件や読影基準の統一を図るため、平成12年3月に発足した。

今現在ヘリカルCTは、肺がん検診において重要な役割を担っており、全国的に広まっている。また、マルチヘリカルなどの最新機能が搭載された機器の性能を引き出す研究も行っていかなくてはならない。

平成16年からは、研究集会を年3回の開催に変更し、活動内容の高密度化を図っている。主な活動内容としては、各会員がフィルムを持ち寄り、症例検討を行う形式を取っている。結果の出ている症例を使用しての検討や、疑問陰影の判定検討、希少なケースの肺がん症例の検討等を行っている。

第6回以降には、上記のほかに、30分～1時間程度の教育講演も組み込んでいる。講演内容は肺がんのみならず、肺の疾患全般に及び、また機器装置の精度管理など、その方面に精通しておられる先生を講師としてお招きしている。

教育講演は今後も継続していく予定で、症例検討と共に本会が益々発展していく事を目指している。

最近の活動状況

第20回 神奈川微小肺がん研究会 研究集会

日時 平成17年6月9日

会場 神奈川県予防医学協会 2階役員室

内容 症例検討

教育講演「高齢者の肺がん手術について」

神奈川県立がんセンター

呼吸器外科 医長 伊藤 宏之 先生

役員

顧問 金子 昌弘 国立がんセンター

代表 田中 俊彦 神奈川県予防医学協会

幹事 井出 研 神奈川県予防医学協会

小田切茂樹 県立循環器呼吸器病センター

櫛橋 民生 横浜市北部病院（昭和大学）

駒瀬 裕子 聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院

佐藤 雅史 日本医科大学付属第二病院放射線科

庄司 晃 横浜市立大学付属病院（福浦）第一内科

中島 康雄 聖マリアンナ医科大学

萩原 明 神奈川県予防医学協会

松崎 稔 神奈川県予防医学協会

三浦博太郎 横須賀共済病院

宮沢 直人 平塚共済病院外科呼吸器外科

山田 耕三 県立がんセンター

（事務局・香西 宏信）

日本作業環境測定協会神奈川支部

日本作業環境測定協会神奈川支部は、昭和56年7月、神奈川並びに山梨の両県に所在する(社)日本作業環境測定協会会員により設立。現在、支部の会員は、自社5、機関28、指定1、委託2の計36会員である。

神奈川支部は設立以来、作業環境測定士の資質向上と測定技術の精度向上、測定機関の業務改善並びに会員相互の親睦を目的として、種々の事業を展開してきた。

平成16年度は、作業環境測定推進大会を始めとして、各種の事業を行った。その主な内容は次の通りである。

会 議

- ①総会1回 ②機関全体集会1回 ③理事会3回
④技術専門委員会7回

事 業

I. 第17回作業環境測定推進大会 (16.9.7)

I 特別講演

「最近の労働衛生行政の動向」

神奈川労働局労働衛生課長 星野 直

II 一般講演

- (1)「新ガイドラインに基づく効果的な分煙環境の作り方」

(財)神奈川県予防医学協会 芦田 敏文

- (2)「管理濃度の変更とそれに伴う測定上の諸問題」

早稲田大学理工学部教授 名古屋俊士

II. 技術研修会

- (1) 第1回技術研修会 (16.5.19)

講演 ～労働衛生今昔物語～

(社)日本労働安全衛生コンサルタント会

副会長 沼野 雄志

- (2) 第2回技術研修会 (17.1.25)

施設見学会：JFEスチール(株)東日本製鉄所

- (3) 第3回技術研修会 (17.3.3)

I 最近の労働衛生の動向について

神奈川労働局労働衛生専門官 高橋 宏

II 管理濃度の変更に伴う諸問題

- (1) 三酸化砒素について

聖マリアンナ医科大学助教授 山内 博

- (2) 粉じん測定について

柴田科学(株) 原田 直昌

III. 講習会

- (1) 作業環境測定士試験科目一部免除講習会
(16.6.1)

役員・技術専門委員

役員	技術専門委員
支 部 長	田中 康友 岸 康博 (日産自動車)
副支部長	蒔田 道則 竹平 知義 (県労働衛生福祉協会)
〃	井出 正 井出 正 (ゼオン分析センター)
理 事	井澤 方宏 芦田 敏文 (県予防医学協会)
〃	松井英三郎 竹内猪佐夫 (関東菱重興産)
〃	大角 武志 灰塚 正隆 (オオスミ)
〃	平井 廣 (日本ビクター)
監 事	望月 明彦 望月 速人 (山梨労働衛生センター)
〃	池田 善郎 布川 典永 (NKK)
行 政	星野 直 高橋 宏幸 (神奈川労働基準局)
	(事務局・芦田 敏文)

神奈川県学校・腎疾患管理研究会

昭和50年に発足し28年目。各地区医師会・行政・大学医学部・病院・学校・検診機関が相互に連携し地道な腎疾患対策を行い児童・生徒の健康に寄与すべく事業を展開している。

I 調査研究事業

1. 小田原市における腎疾患管理で卒業等により、管理解除となった者に対する追跡調査(検診事業は昨年度で終了・成績判定は16年度分として実施)のまとめ。

26年間の卒後検診の総括を実施する予定であったが、諸事情により総括までは至らなかった。

2. 調査研究

- ①学校現場と医療分野の連携を図るため、各市町村養護教諭部会と講演と情報交換の会を実施予定したが、今年度は日程調整がまとまらず実施し出来なかった。

- ②各地区の判定委員会の現状と問題点の把握
平成16年11月13日(土)

II 総会および研究会

平成16年10月16日(土)

会 場 神奈川県予防医学協会

講 演 「基礎疾患を有する児童生徒の予防接種」

講 師 聖マリアンナ医科大学小児科非常勤講師
(中島医院) 中島 夏樹 先生

III 医師部会研究会

1. 第36回研究会

平成16年7月31日(土)

会 場 神奈川県予防医学協会

テーマ 1. 学校検尿で尿異常を指摘され管理されている症例

講師 横浜市立大学 小児科

中村 智子 先生

2. 尿中白血球の判定カット・オフ値の検討

講師 神奈川県予防医学協会

専門委員 竹中 道子 先生

2. 第37回研究会

平成16年12月11日(土)

会 場 神奈川県予防医学協会

テーマ 「電子メール医療相談にみる水腎症の現状と課題」

講師 小児腎疾患総合管理研究所

研究員 村内麻里奈 先生

IV 知識普及活動

1. 研究会機関誌「じん」発刊25・26合併号

(2,500部)

2. 腎臓手帳 500冊販売

3. ホームページ

(URL <http://www.shouni-jin.jp/>)

会長 小坂橋 靖

聖マリアンナ医科大学 小児科教授

(事務局・熊沢 英明)

禁煙・分煙活動を推進する神奈川会議

平成11年11月5日設立発足した本会は着実な活動を展開し、県内における禁煙・分煙に関する活動の指導的役割を果たしてきている。

協会は設立時より本会の事務局を担当している。

15年5月施行の「健康増進法」には、受動喫煙の防止が盛り込まれ、公共施設や教育、交通機関等の人の集まる場所における禁煙・分煙が推進されてきている。

「健康日本21」の目標では2010年までに、未成年者の喫煙率を0%に、喫煙が及ぼす健康被害や公共の場、職場における分煙の徹底をあげている。

神奈川県においても、「かながわ健康プラン21」に続いて、17年度より「がんへの挑戦・10ヵ年戦略」が策定され、タバコ対策が重点課題とされている。

16年度活動内容

1. 総会ならびにシンポジウム開催 7月29日
2. 神奈川県公衆衛生学会シンポジウム 11月16日
3. 産業保健における禁煙講習会 11月18日
4. たばこ対策フォーラム 11月24日
5. たばこ研修会（学校保健関係者） 12月2日
6. 受動喫煙防止推進講演会 1月20日
7. 禁煙・防煙講演会の講師派遣

(1) 学校関係	33校	3590人
(2) 地域関係	16回	570人
(3) 産業関係	45回	1850人
(4) その他	19回	780人
8. イベントへの参加

(1) 健康生活展	11月13日
(2) たばこ規制枠組条約発効記念行事	11月27日
9. 関連会議への協力・参加 3回
10. 関連機関への要望書提出
神奈川県教育委員会、横浜市教育委員会、財務省
11. メーリングリストの運営・管理
12. 暫定ホームページの開設

役員（理事会）の構成 (17年6月23日現在)

会長 中山 脩郎（神奈川県内科医学会長）
 副会長 渡辺古志郎（横浜市民病院副病院長）
 ♪ 西野 一紘（神奈川県歯科医師会副会長）
 ♪ 市川 洋一（神奈川県薬剤師会常務理事）
 会計、理事、監事 25名（医師、歯科医師、薬剤師、看護師、マスコミ、産業、教育等）

（事務局・栗原 博）

神奈川学校保健研究会

県内の養護教諭ら、学校保健関係者が、自主的に研修する場として昭和43年に発足。以来、毎月1回の月例研究会、夏期講習会などを実施している。

1. 月例会

日時、テーマ、講師、参加者数

- ①4月17日「人材育成」小山真理子・神奈川県立保健福祉大学教授・16人 ②5月15日「少年犯罪」新倉アキ子・神奈川県警察本部少年相談保護センター副所長・16人 ③6月5日「ワルテック描画テスト」杉浦京子・日本医科大学心理学助教授・14人 ④7月10日「心理技法」村尾泰弘・立正大学社会福祉学部助教授・18人 ⑤9月18日「アスペルガー症候群」加藤醇子・クリニックかとう院長・33人 ⑥10月16日「子どもの性と生」今井一夫・横須賀市立市民病院産婦人科医師・18人 ⑦11月20日「風景構成法」村尾泰弘・立正大学社会福祉学部助教授・16人 ⑧12月11日「性同一性障害」虎井まさ衛・作家・14人 ⑨2004年1月15日「養護教諭の立場から」坂井悦子・横浜市立高田小学校養護教諭・11人 ⑩2月19日「生きる力の教育」大草正信・大草心理臨床教育相談室主宰・22人 ⑪3月28日「東芝・磯子エンジニアリングセンター・施設見学」・9人

2. 第36回夏期講習会

日時：平成16年8月18日～20日

テーマ：「いのちを生きる」

－心とこころの響きあい－

- ①18日「思春期」金井剛・横浜市中心中央児童相談所医師、「うつ病」大野裕・慶応大学保健管理センター教授②19日「ブリーフセラピーと交流分析」江花昭一・横浜労災病院心療内科医師、③20日「PTSD」堤邦彦・北里大学病院救命救急センター医師、「ホスピス」小澤竹俊・横浜甕生病院ホスピス病棟長 参加状況：222名

会員状況（平成16年度）

小学校28名、中学校17名、高等学校21名、一般20名。計86名。

役員 (順不同、敬称略、平成15年3月31日現在)

会長 山口 京子（川崎市教育委員会健康相談室）
 副会長 藤沢 恵子（横浜市常盤台小学校）
 幹事 佐藤まゆみ（神奈川県立川和高等学校）
 ♪ 金子 雅代（横浜市立権太坂小学校）
 ♪ 坂井 悦子（横浜市立高田小学校）
 ♪ 鈴木 晴美（横浜市立相武山小学校）
 ♪ 佐藤千恵子（川崎市立南河原小学校）
 ♪ 後藤 禮子（川崎市立久本小学校）
 ♪ 原 久子（川崎市立戸手小学校）
 ♪ 浅井 恵子（私立横浜中学校）
 監事 工平 きん（横浜国大付属横浜小学校）
 ♪ 中川 優子（藤沢市立片瀬中学校）

（事務局・栢沼 泉）